

第4次厚真町総合計画 実施計画シート

事業名	自治会等活動推進事業	担当課		担当グループ		作成者(職・氏名)		実施計画年度(期間)	事業評価対象年度
		1	総務課	11	総務人事グループ	主任・日野弥生		R 4 年度 (R4 ~ R6)	R 3 年度

1 基本事項

事業区分	事業開始年度	平成 28 年度	事業主体	1 町		会計区分	1 一般		予算科目			
	事業終了年度	令和 7 年度		02	01		01	0303	001	25		
事業の性質	法令に基づかない自主的事业								条例等の有無	無		
根拠法令・例規計画等												
総合計画	基本目標	5	みんなで支えるあつま									
	基本施策	19	住民自治の推進									
	施策項目	191	地域活動の活性化									
	復旧・復興計画	99	その他									
	総合戦略	99	その他									
政策展開方針 (R2~R6)	厚真町強靱化計画	9999	その他									
	大項目	9	その他									
	中項目	9	その他									
施策項目	9999	その他										

2 事業概要 (Plan)

事業の目的	自治会活動を通じ、地域と行政の協働のまちづくり社会の実現
事業の内容 (手段・方法等)	自治会等活動の運営補助、自治会長会議 (年1回)
対象	町内の自治会 (34自治会) ただし、令和4年2月1日より、吉野自治会休会により、対象となる自治会は33自治会
成果目標	自治会活動に要する経費の一部を補助することにより、自治会加入を促進することで、地域の活性化及び一層住みよい地域社会が形成される。

3 実施結果 (Do)

① 事業費

単位：千円

事業費の推移	H28 (前期1)	H29 (前期2)	H30 (前期3)	R1 (前期4)	R2 (前期5)	R3 (後期1)	R4 (後期2)	R5 (後期3)	R6 (後期4)	R7 (後期5)
	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画	決算・決算見込み・予算・計画
事業費	7,130	6,664	6,629	6,399	6,325	10,164	7,110			
特定財源	国支出金	0	0	0	0	0	0			
	道支出金	0	0	0	0	0	0			
	町債	0	0	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	0	0			
一般財源	7,130	6,664	6,629	6,399	6,325	10,164	7,110			
人件費 (@4,000*時間数)	345	345	345	345	345	345	345			
積算根拠	/					自治会運営補助金 5905 自警団交付金 420 自主防災組織運営費 300 新型コロナウイルス感染症 対策費 1650 除排雪経費の対策費 1650 自治会長会議報償 225 自治会長会議費用弁償 14	自治会運営補助金 6020 自警団交付金 420 自主防災組織運営費 350 コミュニティ活動支援 (ルーラル自治会) 47 自治会長会議報償 255 自治会長会議費用弁償 18			
主な年次計画 (取組)						/				
ヒアリング 指示事項 ※企画調整G記入欄										

② 実績・成果

指標名称(前期)		H28(前期1)		H29(前期2)		H30(前期3)		R1(前期4)		R2(前期5)		R3(後期1)		R4(後期2)		R5(後期3)		R6(後期4)		R7(後期5)		
		数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	
主な活動指標	自治会運営補助金交付額	目標	6,865	千円	6,422	千円	6,398	千円	6,400	千円	6,400	千円	6,700	千円	6,800	千円	6,940	千円	7,040	千円	7,140	千円
	実績	6,865	千円	6,422	千円	6,398	千円	6,399	千円	6,325	千円	6,625	千円		千円		千円		千円		千円	
	達成度	100	%	100	%	100	%	100.0	%	98.8	%	98.9	%	—	%	—	%	—	%	—	%	
※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する																						
主な成果指標	自治会加入率	目標	90	%	90	%	90	%	90	%	90	%	90	%	90	%	91	%	92	%	93	%
	実績	87.3	%	87.3	%	85.5	%	82.9	%	82.0	%	81.2	%									
	達成度	97.0	%	97.0	%	95.0	%	92.1	%	91.1	%	90.2	%	—	%	—	%	—	%	—	%	
※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する																						

4 事業の評価(Check)

評価項目	評価の視点	評価結果	説明
妥当性	実施主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か?	A	各自治会の運営経費の一部を補助することにより、安定した自治会活動を支援し、地域内の交流及び活性化を目指しているため妥当である。
有効性	期待された成果が得られたか?	A	自治会活動は、各自治会の自主性により実施しており、伝統的な地域活動への取組に寄与している。本町の人口は減少傾向にあるが、自治会活動の継続という成果が得られている。
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か?	B	補助金は、均等割及び世帯割などの率を定め自治会の規模に応じて算定した補助金の交付であり、地域活動に有効に活用されており概ね適正である。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 今後の方向性・課題・改善提案等(Action)

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	現状維持
理由	安定した自治会活動の継続とコミュニティの維持のために補助金を交付するとともに、行政と自治会の意見交流の場として自治会長会議を今後も実施していく必要がある。				
課題および改善提案	自治会活動が困難となるケースに自治会未加入世帯の増加などが挙げられる。本町のような人口が少ない自治体において、自治会未加入の場合は孤立し、災害等の緊急時の対応が遅れる状況も想定される。転入者等に対して、自治会が主体的に、チラシの作成等による加入の勧誘を行えるような支援が必要である。				

※予算・サービスは「継続(拡大・現状維持・縮小)」および「終了」から、方向性は「拡大」「現状維持」「縮小」「終了」から選択する。

6 内部評価(本欄は、内部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	現状維持	意見
						地域コミュニティ組織の活性化に資することから、現状維持による事業継続が妥当である。ただし、加入率向上につながるような魅力的で特色ある活動を実施する自治会に対して補助を手厚くする等、新たな仕組みについて検討することが望ましい。

7 外部評価(本欄は、外部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

評価実施年月日	R 4 年 11 月 22 日	予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	現状維持
付帯意見(全体意見)	○地域コミュニティ組織の活性化に資する事業である。 ▶以上から、予算・サービス・方向性を現状維持のうえ事業を継続することが望ましい。						
その他意見(個別意見)	○加入率向上に資する戦略について、引き続き検討することが望ましい。 ○各自治会活動を評価したり、それらを公表する等の機会があってもよいと思われた。						

8 外部評価に対する町の考え方

回答年月日	R 5 年 2 月 28 日
付帯意見に対する回答	○予算・サービス・方向性を現状維持のうえ、事業を継続します。
その他の意見に対する回答	○転入者向け自治会加入促進チラシの配布を継続しながら、他の自治体の加入促進事例などを調査・確認し、加入率を向上させる方策を模索していきます。
	○自治会独自の自主的かつ自由な活動を評価し、それに対するインセンティブとして補助金を加算することも有用であると考え、検討していきます。それらの評価結果を優良事例として公表・情報共有することが、各自治会の活動の活性化に繋がることも期待できると考え、あわせて自治会との協議と検討を進めてまいります。